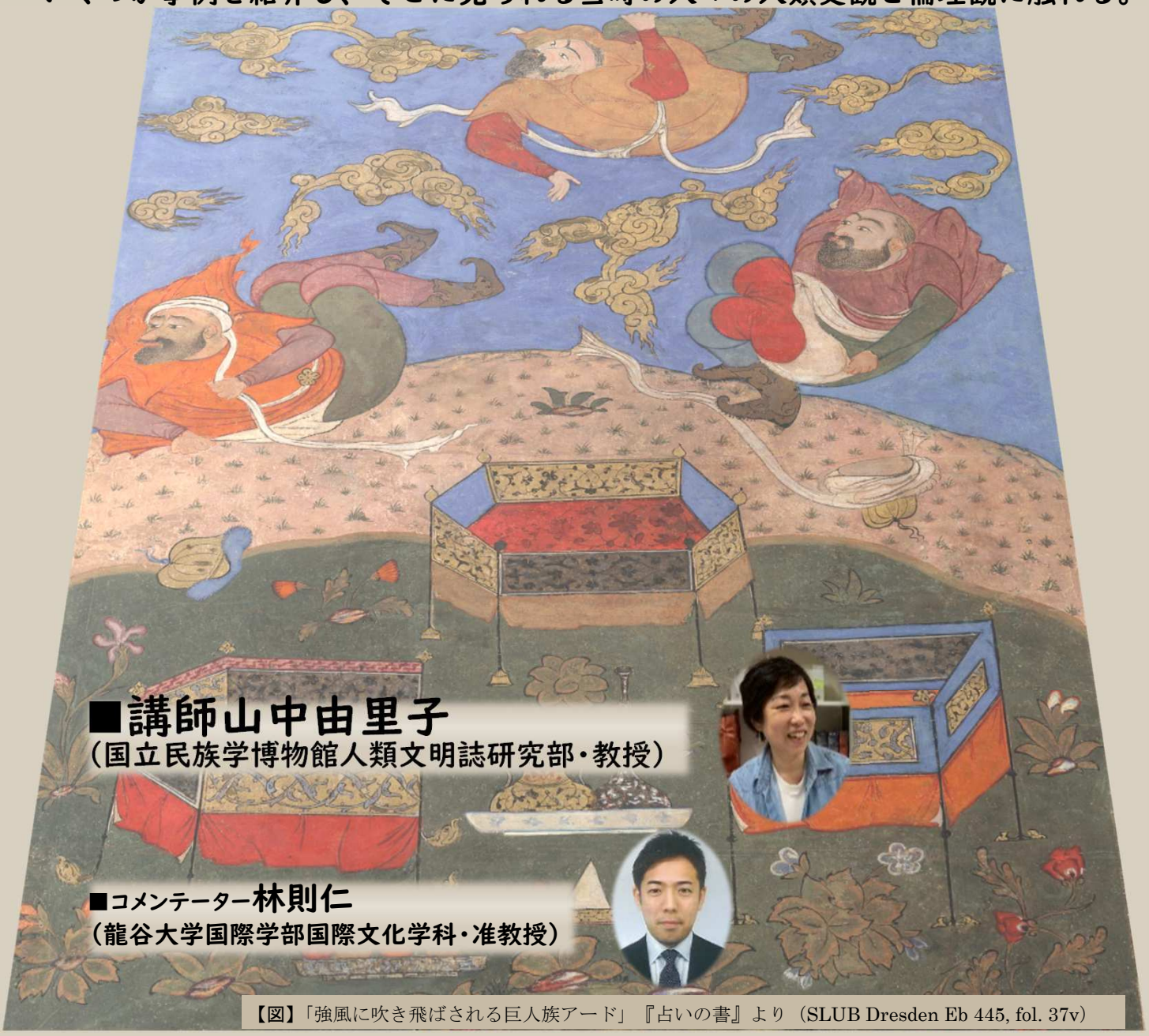
同志社大学一神教学際研究センター　オンライン公開講演会

巨人の名残り

遺物をめぐる中世イスラーム世界の驚異譚と巨人

中世イスラーム世界の博物誌、歴史書などに含まれる驚異譚では、巨大な骨やいつだれが建てたか分からない遺跡の発見が巨人族の伝承と結び付けられた。いくつか事例を紹介し、そこに見られる当時の人々の人類史観と倫理観に触れる。



■講師山中由里子
（国立民族学博物館人類文明誌研究部・教授）

■コメンテーター林則仁
（龍谷大学国際学部国際文化学科・准教授）

【図】「強風に吹き飛ばされる巨人族アード」『占いの書』より（SLUB Dresden Eb 445, fol. 37v）

日時：2022年1月23日（日）13:00−14:30

参加無料・事前申込要

【事前申込要】締切：2022年1月16日（日）

この講演会はzoomを利用しオンラインにて開催いたします。
ご参加をご希望の方は右記QRコード「参加申込みフォーム」からお申込みください。
https://www.doshisha.ac.jp/event/2021/1221/event-detail-4543.html

本講演会は2021年11月6日に開催した、同志社大学一神教学際研究センター公開シンポジウム「「巨人」の場（トポス）」にて発表予定であった山中先生のご講演を中心に改めて企画するものです。

主催・問合せ先： 同志社大学一神教学際研究センター　TEL ：075-251-3972　E-mail： rc-issin@mail.doshisha.ac.jp
共催：科学研究費基盤C「創造の業」の系譜－ユダヤ教における「自由」と「偶像」の総合的研究
（研究代表者：勝又悦子、研究課題番号20K00083）
科学研究費基盤A　超常認識と自然観をめぐる比較心性史の構築
（研究代表者：山中由里子、研究課題番号18H03573）